



こども未来局
保育・子育て推進部

令和7年 6月1日
下小田中保育園

じめじめとした蒸し暑い日が増え、梅雨の近づきを感じるようです。子ども達は雨の日でも楽しい遊びを考え、雨上がりに外に出られることを待ち遠しく思っています。梅雨の時期も元気いっぱいに乗りきりたいですね。



今月の予定

- 6日(金) プレしもこランド
- 7日(土) しもこランド
- 12日(木) 園医健診(2、5歳児)
- 19日(木) プール開き
(3、4、5歳児クラス)

*1日・15日 災害伝言ダイヤル訓練

【しもこランド】

3、4、5歳児の親子参加行事です。子ども達の思いが詰まったコーナーが並びます。親子で思い出に残るひとときをお楽しみください。前日のプレしもこランドでは、乳児クラスの子ども達を招待し、3、4、5歳児の子ども達も一緒にコーナー遊びを楽しみます。

「楽しく子育て♪」

中原区の子育て情報の入手方法をご案内♪

○ホームページ

川崎市中原区のホームページには、子育て情報ホームページ「このゆびと〜まれ」を掲載しています。子育て全般の各種情報を網羅したページと
なっています。

○かわさき子育てアプリ

「かわさき子育てアプリ」は妊娠から出産・子育てまでをサポート。地域の子育てイベント情報も確認できます！

○なかはら子ネット通信

「今日はどこにお出かけしようかなあ…」
そんな時は中原区内の子育て施設のイベントカレンダーが便利です。保護者目線のお役立ち情報満載です！



今月の子育て支援事業 (地域親子向け)

- 3日(火) 親子でランチ
- 4日(水) 保育連続講座
- 11日(水) 保育連続講座
- 12日(木) 交流保育
- 17日(火) 食育講座
- 18日(水) 保育連続講座
- 25日(水) あそびの広場
- 26日(木) 親子でランチ

【イラスト出典：メイト】

すてきなことば

園長の熊澤です。4月に下小田中保育園の子どもたち、保護者の皆さんと出会って2か月が経ちました。毎日「今日はどんな一日になるかな？」と楽しみにしています。

遠足の時に年長さんと『ここをあわせてじゃんけん』(2〜3人で相談をして同じ手の形を出すというじゃんけん)をしたら、とても気に入ってくれ、「園長先生じゃんけんしよー」と事務室に遊びに来てくれるようになりました。ただいま年長さんと私の密かなブームになっています。ある日給食と一緒に食べていると、「ねえ、えんちょうせんせい、あとでここをこめてじゃんけんしようよ」と誘ってくれました。ここをあわせてを、ここをこめてと言い違いをしていたのですが、その言い違いのことばが素敵すぎ。さらっと、「ここをこめて」と言えるのはきっと毎日の生活の中ですてきなことばが溢れているんだろうな。と感じました。ひよこ組さんも「あーあー」とおしゃべりをしていますね。きっと何かを伝えたい気持ちの表現なんですね。ことばと気持ち、大切にしていきたいですね。



昔、楽しんでいた遊び紹介

職員のことをもっと知っていただくために、子どもの頃に楽しんでいた遊びを紹介していきたいと思います。どんな遊びが出てくるでしょうか？

子どもの頃は泥だんご作りが大好きでした。幼稚園では、毎日園庭遊びの時間に泥だんご作りをし、「今日はお砂場の砂」、「今日はお山の砂」と、泥だんごの研究をする毎日でした。研究の甲斐あってか、ツルツルの泥だんごが作れるようになり、クラスの友人にレクチャーしていたのは良い思い出です。

栄養士・友岡

思い出すのは、おだんご作りにおだんごころがし。保育園でもブームがやってくるおだんご作りですが、私の小さい頃もありました。私の場合は近くに山があり（日吉ですが）、山へ行って固いだんごを作り、傾斜に道を作ってころがして遊ぶのです。固くするには白砂（かわいたサラサラした砂）をかけたり乾かししたり、子どもながらに色々工夫して作っていました。近所の子や兄弟と夕暮れまでいくつもおだんごを作りころがして遊んでいました。子ども達がおだんごを作っているとその頃の情景を思い出します。

りす組・山本

昭和 40 年代、胸のボタンを押すと話をする「おはなしマーガレットちゃん」がお気に入りでした。近所の友だちとままごとをしたり、空き地でトンボやバッタを追いかけて遊んでいました。何もなくても自分たちで遊びを見つけていた昭和の田舎の風景です。

看護師・高橋

私が小さい頃にはまっていた遊びは、ゴム段です。（昭和という感じの遊びで知らない保護者の方もいるかもしれませんが…）「ゴム段」とは、単なる普通のお洋服のズボンに使用する細めのゴムを少し長めに輪っか状にして、それを友達と交互に跳ぶだけの遊びです。リズムに合わせて足をひっかけたり戻したり、クリアすると少しずつ高くなっていくので、さらに難易度が上がっていきます。小学生の頃はひたすらそれで遊んでいて、今思うと、ゴム1つであんなにも夢中になって、お金のかからない子どもだったなあ～と思っています。

フリー 奥崎

乳幼児期の遊びで覚えているのは、断然外遊び派だったことです。私は乳幼児期を愛知県と長野県で過ごしましたが、どちらも自然豊かな所で、ご近所付き合いも多くあり、家の前の路地や空き地に近所の子供達が集まってわいわいにぎやかに遊んでいました。空き地では草花を摘んだり、虫を捕まえたり、稲刈りが終わった田んぼで風揚げをしたり、兄に連れられて近くの小川でオタマジャクシや鮒をつかまえたり…。自然物を用いた遊びは飽きるということがなく魅力的でした。保育園でも乳児クラスの小さな子から年長さんまで皆自然物が大好きな姿を見ると、沢山経験させてあげたいなと思っています。

すみれ組・権田

子どもの頃、近くの林や竹藪を探検して遊び、カエルの産卵の瞬間に遭遇したりすることもありました。家の物置や牛舎も格好の遊び場でした。物置には藁が高く積み上げられていたのですが、ハイジの気分でお昼寝をしたり、結構な高さのところから繰り返し飛び降りたりして楽しんでいました。今思えば、とても恵まれた環境で育ったかもしれません。

ひよこ組・坂場

保育園に通っていた頃、夏になると園庭にある大きな木にたくさんのセミが鳴いていました。セミを虫取り網でたくさん捕まえて洋服に付けて「ブローチ〜♪」と喜んで遊んでいました。今では考えられませんが…よくあんなにたくさんのセミをつけていたなと当時の自分にびっくりです（笑）

ひまわり組・玉木

よくダンボールなどの空き箱に入ったり、窓やドアを作りおうちのようにして遊んでいました。シールやリボンなどもつけてお気に入りの空間を作っていました。たまには中でおやつを食べるのもピクニック気分でおススメです！！

うさぎ組・飯塚

いかがでしたか？今年度は「昔、楽しんでいた遊び」の紹介を全2回計画しています。後編は2月です。お楽しみに！

